

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第14期(決算日2018年4月10日)

作成対象期間(2017年4月11日～2018年4月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、2017年12月22日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2024年4月10日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2024年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期(2014年4月10日)	17,639	600	16.6	165.99	18.4	96.9	—	1,819
11期(2015年4月10日)	18,419	600	7.8	193.37	16.5	97.6	—	1,597
12期(2016年4月11日)	17,578	600	△ 1.3	179.15	△ 7.4	94.4	—	1,470
13期(2017年4月10日)	19,664	750	16.1	210.83	17.7	96.1	—	1,543
14期(2018年4月10日)	20,019	600	4.9	230.04	9.1	97.9	—	1,758

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2017年4月10日	19,664	—	210.83	—	96.1	—
4月末	20,041	1.9	213.87	1.4	96.7	—
5月末	20,252	3.0	216.85	2.9	97.8	—
6月末	20,060	2.0	216.95	2.9	98.5	—
7月末	20,174	2.6	219.83	4.3	98.2	—
8月末	20,170	2.6	218.69	3.7	98.9	—
9月末	20,677	5.2	224.09	6.3	97.8	—
10月末	21,258	8.1	230.14	9.2	96.9	—
11月末	21,594	9.8	233.09	10.6	98.0	—
12月末	21,845	11.1	237.21	12.5	97.7	—
2018年1月末	21,866	11.2	245.14	16.3	97.1	—
2月末	21,124	7.4	238.30	13.0	96.4	—
3月末	20,747	5.5	230.61	9.4	96.5	—
(期末)						
2018年4月10日	20,619	4.9	230.04	9.1	97.9	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期(2014年4月10日)	19,159	750	21.2	202.14	23.3	97.5	—	10,793
11期(2015年4月10日)	21,971	800	18.9	258.35	27.8	97.4	—	10,114
12期(2016年4月11日)	18,981	750	△10.2	219.03	△15.2	98.2	—	7,314
13期(2017年4月10日)	21,369	900	17.3	261.90	19.6	98.0	—	6,831
14期(2018年4月10日)	21,869	700	5.6	287.66	9.8	98.5	—	6,397

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2017年4月10日	21,369	—	261.90	—	98.0	—
4月末	21,926	2.6	267.09	2.0	96.7	—
5月末	22,185	3.8	271.49	3.7	98.4	—
6月末	22,307	4.4	276.07	5.4	98.7	—
7月末	22,296	4.3	278.12	6.2	98.2	—
8月末	22,325	4.5	277.13	5.8	98.3	—
9月末	23,389	9.5	290.00	10.7	97.8	—
10月末	24,041	12.5	297.57	13.6	97.0	—
11月末	24,322	13.8	299.88	14.5	97.9	—
12月末	24,858	16.3	308.81	17.9	97.8	—
2018年1月末	24,369	14.0	312.41	19.3	98.0	—
2月末	23,163	8.4	298.60	14.0	98.3	—
3月末	22,570	5.6	286.55	9.4	96.5	—
(期末)						
2018年4月10日	22,569	5.6	287.66	9.8	98.5	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

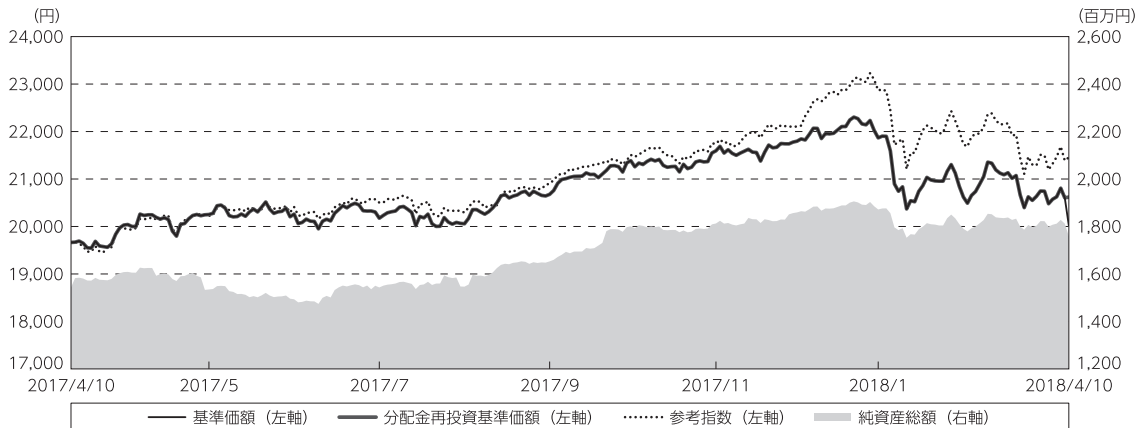
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：19,664円

期末：20,019円 (既払分配金(税込み)：600円)

騰落率： 4.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2017年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,664円から期末20,019円となりました。

(上昇)

- ・ 2017年9月、米国のハリケーンの被害が当初懸念されたほど大きくなかったとの見方や米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和されたこと、米トランプ政権の税制改革案が発表されたことなどが好感され、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 10月、米国で法人税率引き下げを含む税制改革への期待が高まったこと、米国や欧州で市場予想を上回る7-9月期の企業決算が相次ぎ発表されたことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

<Aコース>

(下落)

- ・ 2018年2月、1月の米雇用統計が市場予想を上回ったことで米長期金利が上昇したこと、株式の価格変動率が高まったことから投資家心理が悪化し、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 3月、米国務長官の解任などを受けトランプ政権の通商・外交政策への不透明感が高まったこと、米IT（情報技術）大手企業による個人情報流出問題が浮上したこと、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。

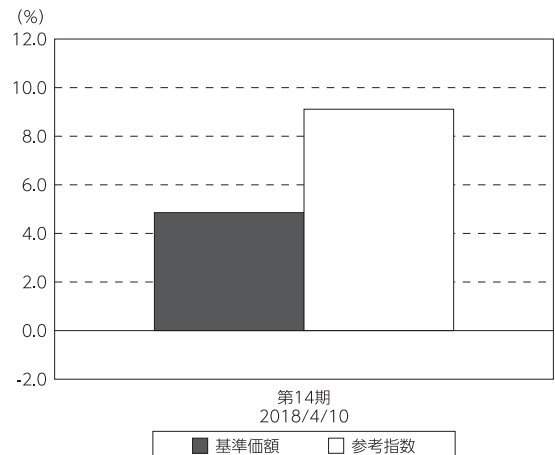
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の9.1%の上昇に対し、基準価額は4.9%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり600円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2017年4月11日～ 2018年4月10日
当期分配金	600
(対基準価額比率)	2.910%
当期の収益	600
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,018

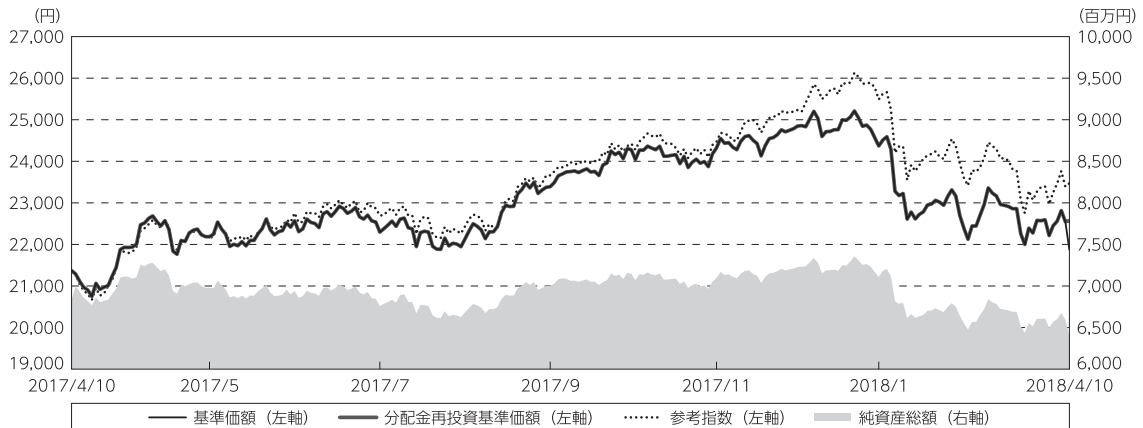
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,369円

期末：21,869円 (既払分配金(税込み)：700円)

騰落率： 5.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2017年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,369円から期末21,869円となりました。

(上昇)

- ・ 2017年9月、米国のハリケーンの被害が当初懸念されたほど大きくなかったとの見方や米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和されたこと、米トランプ政権の税制改革案が発表されたことなどが好感され、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 10月、米国で法人税率引き下げを含む税制改革への期待が高まったこと、米国や欧州で市場予想を上回る7-9月期の企業決算が相次ぎ発表されたことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

<Bコース>

(下落)

- ・ 2018年1月、米財務長官のドル安容認発言や月末の世界的な株安を受けた投資家のリスク回避の動きなどを背景にドル・円レートが下落し続け、ドル安・円高となったこと。
- ・ 2月、1月の米雇用統計が市場予想を上回ったことで米長期金利が上昇したこと、株式の価格変動率が高まったことから投資家心理が悪化し、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 3月、米国務長官の解任などを受けトランプ政権の通商・外交政策への不透明感が高まったこと、米IT（情報技術）大手企業による個人情報流出問題が浮上したこと、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。

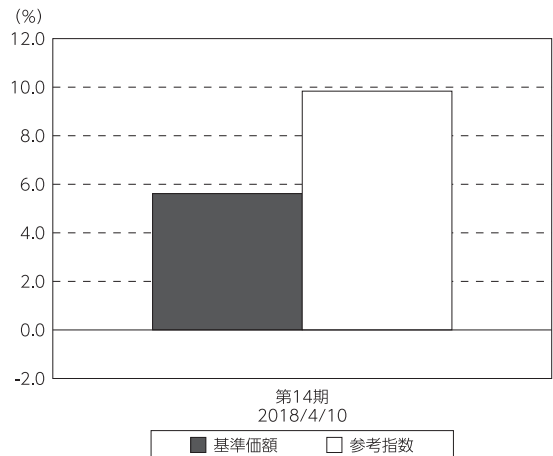
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の9.8%の上昇に対し、基準価額は5.6%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり700円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2017年4月11日～ 2018年4月10日
当期分配金	700
(対基準価額比率)	3.102%
当期の収益	700
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,869

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、欧州や米国で堅調な経済指標や市場予想を上回る企業決算が相次いで発表されたことや米国で税制改革法案が成立したことなどを背景に、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は米ドルに対して概ね上昇（円高）、ユーロに対して下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔ワールド・ウォーター・ファンド Aコース〕および〔ワールド・ウォーター・ファンド Bコース〕は、主要投資対象である〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド〕

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、不安定な市場環境の中でも利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③先行き不透明な環境が続く中で、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割安な銘柄に投資しました。
 - ⑤スウェーデンの野外機器メーカーなどの株式を組み入れたほか、ドイツの工業用品・特殊化学品の販売会社などの株式を買い増しました。一方で、米国の工業製品販売・レンタル会社などの株式を全売却したほか、米国の住宅リフォーム・建築用品メーカーなどの株式を一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

世界的に景気先行指数は緩やかに低下していますが、鉱工業生産や建設市場は好調であるため、装置製造エンジニアリング・セクターに注目しています。また株式市場の調整により、バリュエーションの観点で割安となった上下水道ビジネスセクターについては買い増しの好機とみており、特に、英国と米国の規制下の水道公益関連に注目していきます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 382	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(202)	(0.972)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(157)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(22)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(6)	(0.027)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.009)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.044	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	399	1.916	
期中の平均基準価額は、20,817円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2017年4月11日～2018年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 167,741	千円 720,720	千口 137,171	千円 586,500

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年4月11日～2018年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,929,548千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,444,254千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月11日～2018年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人との取引状況 D	D/C	%
為替先物取引	百万円 80	百万円 6,793	1.2	百万円 45	百万円 6,998	0.6

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Aコース>

○組入資産の明細

(2018年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	377,950	408,520	1,747,078

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,747,078	94.9
コール・ローン等、その他	94,495	5.1
投資信託財産総額	1,841,573	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,706,739千円）の投資信託財産総額（8,387,814千円）に対する比率は91.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.75円、1カナダドル=84.04円、1英ポンド=150.92円、1スイスフラン=111.67円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=17.67円、1ユーロ=131.58円、1香港ドル=13.60円、1ウォン=0.0998円、1メキシコペソ=5.82円、1レアル=31.19円、1チリペソ=0.1767円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,419,262,953
コール・ローン等	9,984,507
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,747,078,701
未収入金	1,662,199,745
(B) 負債	1,660,301,110
未払金	1,589,005,129
未払収益分配金	52,719,031
未払解約金	1,918,683
未払信託報酬	16,628,959
未払利息	27
その他未払費用	29,281
(C) 純資産総額(A-B)	1,758,961,843
元本	878,650,529
次期繰越損益金	880,311,314
(D) 受益権総口数	878,650,529口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,019円

(注) 期首元本額は785,025,830円、期中追加設定元本額は255,544,652円、期中一部解約元本額は161,919,953円、1口当たり純資産額は2,0019円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額60,111,861円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 23,737
支払利息	△ 23,737
(B) 有価証券売買損益	89,993,531
売買益	228,020,092
売買損	△138,026,561
(C) 信託報酬等	△ 31,170,824
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	58,798,970
(E) 前期繰越損益金	253,791,255
(F) 追加信託差損益金	620,440,120
(配当等相当額)	(481,798,053)
(売買損益相当額)	(138,642,067)
(G) 計(D+E+F)	933,030,345
(H) 収益分配金	△ 52,719,031
次期繰越損益金(G+H)	880,311,314
追加信託差損益金	620,440,120
(配当等相当額)	(482,496,652)
(売買損益相当額)	(137,943,468)
分配準備積立金	259,871,194

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2017年4月11日～2018年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年4月11日～ 2018年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	19,871,906円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	38,927,064円
c. 信託約款に定める収益調整金	620,440,120円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	253,791,255円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	933,030,345円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,618円
g. 分配金	52,719,031円
h. 分配金(1万口当たり)	600円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	600円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

①信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日 : 2017年12月22日>

②信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2024年4月10日とする所要の約款変更を行いました。

<変更適用日 : 2017年12月22日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 425	% 1.836	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(225)	(0.972)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(175)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(25)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.027)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.009	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.009)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.044	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	443	1.916	
期中の平均基準価額は、23,145円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2017年4月11日～2018年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 115,016	千円 486,000	千口 327,772	千円 1,399,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2017年4月11日～2018年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,929,548千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,444,254千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月11日～2018年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 1,707,062	千口 1,494,306	千円 6,390,551

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2018年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	6,390,551	95.8
コール・ローン等、その他	277,953	4.2
投資信託財産総額	6,668,504	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,706,739千円）の投資信託財産総額（8,387,814千円）に対する比率は91.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.75円、1カナダドル=84.04円、1英ポンド=150.92円、1スイスフラン=111.67円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=17.67円、1ユーロ=131.58円、1香港ドル=13.60円、1ウォン=0.0998円、1メキシコペソ=5.82円、1レアル=31.19円、1チリペソ=0.1767円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月10日現在)

○損益の状況 (2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,668,504,609
コール・ローン等	94,952,953
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(詳細額)	6,390,551,656
未収入金	183,000,000
(B) 負債	270,778,409
未払収益分配金	204,782,840
未払解約金	2,026,598
未払信託報酬	63,856,083
未払利息	260
その他未払費用	112,628
(C) 純資産総額(A-B)	6,397,726,200
元本	2,925,469,149
次期繰越損益金	3,472,257,051
(D) 受益権総口数	2,925,469,149口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,869円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 62,854
支払利息	△ 62,854
(B) 有価証券売買損益	446,022,327
売買益	518,693,042
売買損	△ 72,670,715
(C) 信託報酬等	△ 127,772,601
(D) 当期損益金(A+B+C)	318,186,872
(E) 前期繰越損益金	862,359,011
(F) 追加信託差損益金	2,496,494,008
(配当等相当額)	(1,320,547,367)
(売買損益相当額)	(1,175,946,641)
(G) 計(D+E+F)	3,677,039,891
(H) 収益分配金	△ 204,782,840
次期繰越損益金(G+H)	3,472,257,051
追加信託差損益金	2,496,494,008
(配当等相当額)	(1,321,631,648)
(売買損益相当額)	(1,174,862,360)
分配準備積立金	975,763,043

(注) 期首元本額は3,196,973,866円、期中追加設定元本額は237,161,791円、期中一部解約元本額は508,666,508円、1口当たり純資産額は2,1869円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額60,111,861円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2017年4月11日～2018年4月10日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年4月11日～ 2018年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	89,566,360円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	228,620,512円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,496,494,008円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	862,359,011円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,677,039,891円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,569円
g. 分配金	204,782,840円
h. 分配金(1万口当たり)	700円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	700円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

①信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年12月22日>

②信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2024年4月10日とする所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年12月22日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日2018年4月10日）

作成対象期間（2017年4月11日～2018年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2014年4月10日)	30,078	23.5	202.14	23.3	98.5	—	12,480
11期(2015年4月10日)	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—	11,547
12期(2016年4月11日)	33,267	△ 8.6	219.03	△15.2	98.9	—	8,665
13期(2017年4月10日)	39,761	19.5	261.90	19.6	98.7	—	8,290
14期(2018年4月10日)	42,766	7.6	287.66	9.8	98.6	—	8,137

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

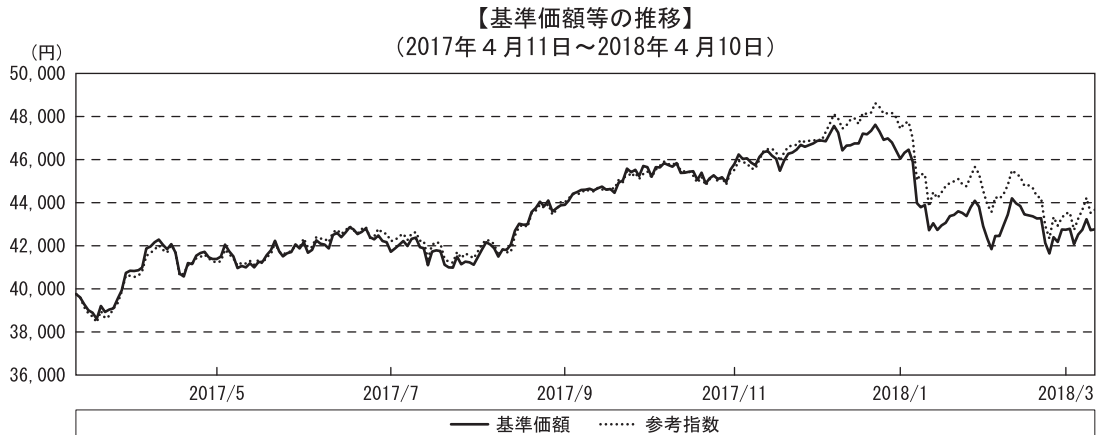
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首)	円	%		%	%	%
2017年4月10日	39,761	—	261.90	—	98.7	—
4月末	40,836	2.7	267.09	2.0	97.2	—
5月末	41,386	4.1	271.49	3.7	98.8	—
6月末	41,676	4.8	276.07	5.4	99.2	—
7月末	41,719	4.9	278.12	6.2	98.7	—
8月末	41,838	5.2	277.13	5.8	98.7	—
9月末	43,906	10.4	290.00	10.7	98.3	—
10月末	45,205	13.7	297.57	13.6	97.4	—
11月末	45,805	15.2	299.88	14.5	98.4	—
12月末	46,887	17.9	308.81	17.9	98.2	—
2018年1月末	46,038	15.8	312.41	19.3	98.5	—
2月末	43,810	10.2	298.60	14.0	98.8	—
3月末	42,743	7.5	286.55	9.4	97.0	—
(期末)						
2018年4月10日	42,766	7.6	287.66	9.8	98.6	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首39,761円から期末42,766円となりました。

(上昇)

- ・ 2017年9月、米国のハリケーンの被害が当初懸念されたほど大きくなかったとの見方や米朝の軍事衝突への過度の警戒感が緩和されたこと、米トランプ政権の税制改革案が発表されたことなどが好感され、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 10月、米国で法人税率引き下げを含む税制改革への期待が高まったこと、米国や欧州で市場予想を上回る7-9月期の企業決算が相次ぎ発表されたことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

(下落)

- ・ 2018年1月、米財務長官のドル安容認発言や月末の世界的な株安を受けた投資家のリスク回避の動きなどを背景にドル・円レートが下落し続け、ドル安・円高となったこと。
- ・ 2月、1月の米雇用統計が市場予想を上回ったことで米長期金利が上昇したこと、株式の価格変動率が高まったことから投資家心理が悪化し、主要各国の株価が下落したこと。
- ・ 3月、米国務長官の解任などを受けトランプ政権の通商・外交政策への不透明感が高まったこと、米IT(情報技術)大手企業による個人情報流出問題が浮上したこと、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから、主要各国の株価が下落したこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、欧州や米国で堅調な経済指標や市場予想を上回る企業決算が相次いで発表されたことや米国で税制改革法案が成立したことなどを背景に、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、円は米ドルに対して概ね上昇（円高）、ユーロに対して下落（円安）となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

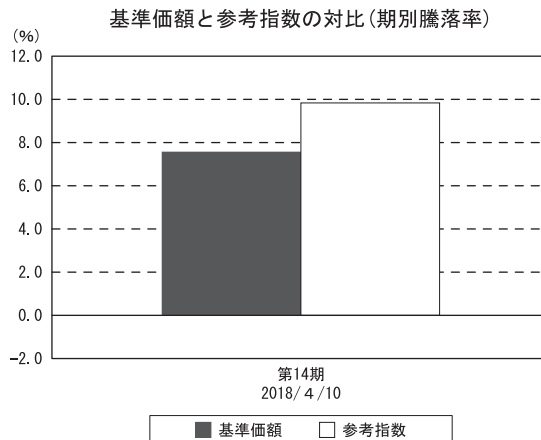
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、不安定な市場環境の中でも利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③先行き不透明な環境が続く中で、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い「上下水道ビジネス」の組入比率を高位に保ちました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割安な銘柄に投資しました。
 - ⑤スウェーデンの野外機器メーカーなどの株式を組み入れたほか、ドイツの工業用品・特殊化学品の販売会社などの株式を買い増しました。一方で、米国の工業製品販売・レンタル会社などの株式を全売却したほか、米国の住宅リフォーム・建築用品メーカーなどの株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の9.8%の上昇に対し、基準価額は7.6%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしております。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

世界的に景気先行指数は緩やかに低下していますが、鉱工業生産や建設市場は好調であるため、装置製造エンジニアリング・セクターに注目しています。また株式市場の調整により、バリュエーションの観点で割安となった上下水道ビジネスセクターについては買い増しの好機とみており、特に、英国と米国の規制下の水道公益関連に注目していきます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 12 (12)	% 0.027 (0.027)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.009 (0.009)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	18 (16) (2)	0.041 (0.037) (0.004)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	34	0.077	
期中の平均基準価額は、43,487円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年4月11日～2018年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 19	千円 65,240
	アメリカ	百株 1,965 (120)	千米ドル 9,598 (—)	百株 2,777	千米ドル 13,589
外 国	カナダ	103	千カナダドル 350	736	千カナダドル 812
	イギリス	1,210	千英ポンド 1,243	879	千英ポンド 906
	スイス	3	千スイスフラン 145	10	千スイスフラン 496
	スウェーデン	911	千スウェーデンクローナ 7,482	87	千スウェーデンクローナ 1,605
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	69	千デンマーククローネ 2,088
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	262 (—)	1,191 (△ 12)	39	231
	イタリア	—	—	443	126
	フランス	145 (125)	228 (198)	683	1,205
	オランダ	16 (5)	36 (7)	108	304
	オーストリア	26	125	28	153
	香港	3,830	千香港ドル 2,882	7,140	千香港ドル 6,169
	韓国	—	千ウォン —	35	千ウォン 360,792
	メキシコ	— (—)	千メキシコペソ — (△ 80)	755	千メキシコペソ 2,043
	ブラジル	31	千リアル 133	57	千リアル 250

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年4月11日～2018年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,929,548千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,444,254千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年4月11日～2018年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年4月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	株 数	株 数	株 数	評 価 額	
化学 (11.7%)		千株	千株	千円	
積水化学工業	31.5		26.5	51,092	
金属製品 (27.8%)					
L I X I Lグループ	60.1		50.6	121,389	
機械 (34.8%)					
クボタ	82		82	151,864	
電気機器 (25.7%)					
堀場製作所	18.6		14.1	112,095	
合 計	株 数	・ 金 額	192	173	436,440
	銘 柄 数 < 比 率 >		4	4	< 5.4% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	394	231	575	61,414	建設関連製品	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	—	3	19	2,101	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN STATES WATER CO	230	162	851	90,865	水道	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	374	352	2,894	308,991	水道	
AQUA AMERICA INC	499	594	2,010	214,600	水道	
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	271	192	708	75,594	水道	
CANTEL MEDICAL CORP	—	77	831	88,768	ヘルスケア機器・用品	
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	1,434	1,142	1,119	119,555	水道	
DANAHER CORP	290	305	2,983	318,513	ヘルスケア機器・用品	
ECOLAB INC	138	110	1,544	164,853	化学	
FLOWSERVE CORP	165	327	1,422	151,829	機械	
FORTERRA INC	285	382	310	33,159	建設資材	
FORTUNE BRANDS HOME & SECURITY INC	228	179	1,044	111,469	建設関連製品	
FRANKLIN ELECTRIC CO INC	57	—	—	—	機械	
HD SUPPLY HOLDINGS INC	386	—	—	—	商社・流通業	
IDEX CORP	115	71	995	106,217	機械	
MASCO CORP	449	192	774	82,696	建設関連製品	
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	132	495	513	54,815	機械	
PARKER HANNIFIN CORP	—	26	439	46,968	機械	
PERKINELMER INC	318	177	1,318	140,729	ライフサイエンス・ツール/サービス	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	124	190	1,276	136,300	商業サービス・用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	75	50	1,366	145,920	コングロマリット	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	99	144	1,110	118,591	商社・流通業	
SMITH (A.O.) CORP	365	266	1,680	179,389	建設関連製品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	141	120	2,534	270,603	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TORO CO	89	252	1,516	161,838	機械	
TRIMBLE INC	249	208	716	76,508	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	27	83	1,158	123,646	建設・土木	
WASTE CONNECTIONS INC	240	332	2,404	256,687	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	113	188	1,571	167,801	商業サービス・用品	
XYLEM INC	574	408	3,093	330,232	機械	
PENTAIR PLC	449	359	2,461	262,764	機械	
小計	株数・金額	8,325	7,633	41,249	4,403,427	
	銘柄数<比率>	29	30	—	<54.1%>	
(カナダ)			千カナダドル			
PURE TECHNOLOGIES LTD	671	—	—	—	電子装置・機器・部品	
STANTEC INC	505	544	1,714	144,114	専門サービス	
小計	株数・金額	1,177	544	1,714	144,114	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<1.8%>	
(イギリス)			千英ポンド			
PENNON GROUP PLC	1,655	1,680	1,101	166,233	水道	
SEVERN TRENT PLC	725	793	1,503	226,875	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,306	1,104	808	121,962	水道	
FERGUSON PLC	150	207	1,094	165,176	商社・流通業	
ROTORK PLC	1,846	2,228	624	94,186	機械	
小計	株数・金額	5,684	6,015	5,131	774,433	
	銘柄数<比率>	5	5	—	<9.5%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	金額	
(スイス) GEBERIT AG-REG	百株 42	百株 34	千スイスフラン 1,431	千円 159,806	建設関連製品
小計	株数・金額 42	株数・金額 34	外貨建金額 1,431	邦貨換算金額 159,806	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<2.0%>	
(スウェーデン) ALFA LAVAL AB HUSQVARNA AB-B SHS	413 —	325 911	千スウェーデンクローナ 6,393 7,149	81,650 91,303	機械 家庭用耐久財
小計	株数・金額 413	株数・金額 1,237	13,543	172,953	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 2		<2.1%>	
(デンマーク) NOVOZYMES A/S-B SHARES	195	126	千デンマーククローネ 3,865	68,296	化学
小計	株数・金額 195	株数・金額 126	3,865	68,296	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<0.8%>	
(ユーロ…ドイツ) KSB AG-VORZUG GEA GROUP AG BRENNTAG AG	2 137 44	— 234 173	千ユーロ — 803 840	— 105,692 110,581	機械 機械 商社・流通業
小計	株数・金額 184	株数・金額 407	1,643	216,273	
	銘柄数<比率> 3	銘柄数<比率> 2		<2.7%>	
(ユーロ…イタリア) HERA SPA	3,327	2,883	873	114,971	総合公益事業
小計	株数・金額 3,327	株数・金額 2,883	873	114,971	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.4%>	
(ユーロ…フランス) VEOLIA ENVIRONNEMENT SUEZ	1,548 1,529	1,202 1,463	2,330 1,750	306,629 230,327	総合公益事業 総合公益事業
小計	株数・金額 3,078	株数・金額 2,665	4,080	536,957	
	銘柄数<比率> 2	銘柄数<比率> 2		<6.6%>	
(ユーロ…オランダ) ARCADIS NV AALBERTS INDUSTRIES NV	214 298	180 246	288 1,015	38,008 133,569	建設・土木 機械
小計	株数・金額 512	株数・金額 426	1,303	171,578	
	銘柄数<比率> 2	銘柄数<比率> 2		<2.1%>	
(ユーロ…オーストリア) ANDRITZ AG	134	132	608	80,097	機械
小計	株数・金額 134	株数・金額 132	608	80,097	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.0%>	
ユーロ計	株数・金額 7,237	株数・金額 6,516	8,511	1,119,878	
	銘柄数<比率> 9	銘柄数<比率> 8		<13.8%>	
(香港) CHINA EVERBRIGHT INTL LTD GUANGDONG INVESTMENT BEIJING ENTERPRISES WATER GR	9,840 12,088 22,448	10,250 9,268 21,548	千香港ドル 11,398 11,492 9,308	155,012 156,298 126,599	商業サービス・用品 水道 水道
小計	株数・金額 44,376	株数・金額 41,066	32,199	437,910	
	銘柄数<比率> 3	銘柄数<比率> 3		<5.4%>	
(韓国) COWAY CO LTD	191	156	千ウォン 1,382,812	138,004	家庭用耐久財
小計	株数・金額 191	株数・金額 156	1,382,812	138,004	
	銘柄数<比率> 1	銘柄数<比率> 1		<1.7%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(メキシコ) GRUPO ROTOPLAS SA DE CV	百株 2,188	百株 1,433	千メキシコペソ 3,950	千円 22,993	機械
小計	株数・金額 2,188	株数・金額 1,433	3,950	22,993	
	銘柄数<比率>	1	1	<0.3%>	
(ブラジル) CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS	476	450	千リアル 2,008	62,635	水道
小計	株数・金額 476	株数・金額 450	2,008	62,635	
	銘柄数<比率>	1	1	<0.8%>	
(チリ) AGUAS ANDINAS SA-A	11,764	11,764	千チリペソ 465,545	82,261	水道
小計	株数・金額 11,764	株数・金額 11,764	465,545	82,261	
	銘柄数<比率>	1	1	<1.0%>	
合計	株数・金額 82,073	株数・金額 76,977	—	7,586,717	
	銘柄数<比率>	55	55	<93.2%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2018年4月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 8,023,157	% 95.7
コール・ローン等、その他	364,657	4.3
投資信託財産総額	8,387,814	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産 (7,706,739千円) の投資信託財産総額 (8,387,814千円) に対する比率は91.9%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.75円、1カナダドル=84.04円、1英ポンド=150.92円、1スイスフラン=111.67円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=17.67円、1ユーロ=131.58円、1香港ドル=13.60円、1ウォン=0.0998円、1メキシコペソ=5.82円、1リアル=31.19円、1チリペソ=0.1767円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,430,510,406
コール・ローン等	348,427,428
株式(評価額)	8,023,157,538
未収入金	42,846,680
未取配当金	16,078,760
(B) 負債	292,798,809
未払金	44,798,153
未払解約金	248,000,000
未払利息	656
(C) 純資産総額(A-B)	8,137,711,597
元本	1,902,827,096
次期繰越損益金	6,234,884,501
(D) 受益権総口数	1,902,827,096口
1万口当たり基準価額(C/D)	42,766円

(注) 期首元本額は2,085,013,703円、期中追加設定元本額は282,758,072円、期中一部解約元本額は464,944,679円、1口当たり純資産額は4,2766円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,494,306,612円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 408,520,484円

○損益の状況 (2017年4月11日～2018年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	160,401,404
受取配当金	160,185,834
受取利息	301,141
その他収益金	2
支払利息	△ 85,573
(B) 有価証券売買損益	469,424,807
売買益	1,178,601,730
売買損	△ 709,176,923
(C) 保管費用等	△ 3,536,132
(D) 当期損益金(A+B+C)	626,290,079
(E) 前期繰越損益金	6,205,187,815
(F) 追加信託差損益金	923,961,928
(G) 解約差損益金	△1,520,555,321
(H) 計(D+E+F+G)	6,234,884,501
次期繰越損益金(H)	6,234,884,501

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年12月22日>